

協議会構成機関等の取組について

構成機関等	過去に実施した取組	令和6年度取組状況	今後の取組予定	備考
岩手医科大学薬学部	・一部の講義等で後発医薬品の意義に関して触れている。	・同左で、今後も後発医薬品に関して教育していきたい	同左	
一般社団法人岩手県医師会	・ジェネリック医薬品啓発ポスターの掲示	なし	・各団体の取組を参考とし、検討いたします。	
一般社団法人岩手県歯科医師会	・歯科医師会会員に対して後発医薬品使用の推奨を行っている。 ・後発医薬品調剤体制加算の施設基準および算定要件を岩手県内13地区の歯科医師会に対して説明を行い、理解を求めたうえで推奨に努めている。	・令和6年度診療報酬改定の結果検証に係る事業として、日本歯科医師会から発議を受け、「後発医薬品の使用促進策の影響及び実施状況調査」の調査を実施した。	・今後も従前に実施した取り組みを継続する他、本協議会で得た知見および日本歯科医師会の対応と同調しながら、県内歯科医院における後発医薬品使用の推進に努めたい。	
一般社団法人岩手県薬剤師会	・保険薬局研修会で後発医薬品の使用促進依頼	同左	同左	・医薬品の流通が不安定な中でも、可能な限り後発医薬品の使用を心掛けるよう全県対象の保険薬局研修会で依頼。 ・選定療養制度が開始されて、後発医薬品への変更が増えている。
一般社団法人岩手県私立病院協会	・後発品に切り替えた場合の削減効果をシミュレーションし、後発品使用が薬剤購入費の削減につながることを提示した。 ・医局や医療スタッフに、後発品への切り替えをアナウンスした。	・オーダーリングで先発品名を入力すると、後発品が候補に挙がり、後発品を選択することができる。 ・新規購入品（院内）や、新規登録品（院外）の申請があった場合、可能な限り後発品名又は一般名処方を採用する。	・厚生労働省から発出されている一般名処方マスタの更新（年に4回程度）の度に、採用薬が該当していないか確認作業を行う	
日本ジェネリック製薬協会	資料3のとおり	同左	同左	
全国健康保険協会岩手支部	・ジェネリックの使用割合が低い医療機関等に、地域におけるジェネリック使用状況等の情報提供。 ・ジェネリック医薬品に切り替えた際の自己負担軽減額通知の送付。 ・乳幼児のいる家庭にジェネリック医薬品使用による医療費適正化の啓発パンフレットを送付。	・電車の中吊り広告を活用したジェネリック医薬品使用推進広告の掲載。	・電車及びバス車内広告を活用したジェネリック医薬品使用促進広告の掲載。 ・後発医薬品の金額ベースの使用割合について自支部の立ち位置を分析し、それを踏まえた施策の検討。 ・地域フォーミュラりの策定に向けた、「医薬品実績リスト」を用いた地域関係団体への働きかけ。 ・バイオシミュラー情報提供ツールを活用した医療機関への働きかけ。	
岩手県国民健康保険団体連合会	・後発医薬品利用差額通知作成 ・後発医薬品利用差額通知コールセンター（国保中央会設置） ・後発医薬品利用促進に係るパンフレット等の共同作成	同左	同左	
岩手県立釜石病院	・医療局推奨後発医薬品の採用検討	・医療局推奨後発医薬品への切替え ・バイオ後続品導入初期加算について医師へ説明 ・バイオ後続品への切替えについて診療科と協議予定	・医療局推奨後発医薬品への切替え検討の継続 ・バイオ後続品の初期導入、切替え時、薬剤師による患者へ説明等の実施	
岩手県医療局業務支援課	・推奨後発医薬品の選定・追加（令和6年3月31日時点 907品目）	・推奨後発医薬品の選定・追加（9成分13品目） →令和6年7月、新たに薬価収載された後発医薬品について、薬剤業務検討委員会が資料作成等を行い、品目を選定。令和6年8月、医療局薬事委員会において審議を行い、推奨後発医薬品追加品目を最終決定。令和6年9月、各病院に通知。	・推奨後発医薬品の選定・追加の継続 ・バイオ後続品採用拡大に向けた取組（バイオシミュラー説明資料の各病院への配布等）	